

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	家庭	科目	保育基礎	学年	第2学年	類型	I型
単位数	3単位	教科書	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）				
補助教材							

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成する。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考查
1 学期	4月	1章 子どもの保育 ①保育の意義	保育には、生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解し、保育者のあるべき姿について考える。 家庭、幼稚園、保育所、認定こども園について、それぞれの特徴や役割を理解します。現代の子どもや子育てを取り巻く問題、多様な保育ニーズを知り、適切な保育環境について考える。 発達過程の特徴と段階に応じた保育の方法を理解する。	期末 考查
	5月	②保育の環境		
	6月			
	7月	③保育の方法		
2 学期	8月	2章 子どもの発達 ①子どもの発達の特性	生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 発達には順序性、連続性、方向性、相互性という一定の共通点がある一方で、個人差が大きいことを理解する。 子どもが主体的に環境に働きかけ発達していくために、保育者が応答的に関わる大切であることを理解する。 各部位別の目安や評価法を知り、乳幼児期の発達の特性を理解する。生理的特徴、感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達について理解する。愛着関係の形成過程と重要性、安全基地としての親の存在について理解する。	期末 考查
	9月			
	10月			
	11月	②乳幼児の発育と発達		
	12月			
3 学期	1月	3章 子どもの生活 ①子どもの健康と生活	子どもを安全に養護するためのポイントや注意点について知る。 子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。近年の幼児に関する食事習慣や課題を知り、家庭や保育施設で求められることを考察する。	学年 末 考 査
	2月	②子どもの食事		
	3月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習する。保育技術検定を受検することにより、目標を持ち、達成感を味わいながら保育に関する実践力の向上を目指す。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養っている。	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考查、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価する。		